

緑が丘地域における教育機関の取組

～旭川工業高等学校の教育活動～

寄稿：北海道旭川工業高等学校

旭川工業高等学校は道内で最も学科の多い工業高校で、「工業化学・建築・土木・電気・情報技術・電子機械」の6科があり、通称「旭工（きょっこう）」と呼ばれている、開校80年を超える伝統校です。

本校の特色は、地域との連携を重視した教育活動にあります。旭川医科大学でのイルミネーション、吹奏楽部のサニータウン演奏会・西御料地神社祭演奏会、緑が丘あさひ園におけるピアサポートによる老人ホーム実習、多くの企業にご協力いただいている出前授業、最近ではダイキン工業（株）及び道教委と連携したエアコン据付実習など、様々な取組を行っています。また、依頼があれば修繕や作品製作も行っており、過去には「香りロード」の立て看板を製作したこともあります。



旭川医大イルミネーション サニータウン演奏会 ベンチ製作 出前授業

本校を知ってもらうには、7月に行われている「工高祭」と、6月に買物公園で行われている「まちなかキャンパス」にぜひ来ていただきたいです。道内で唯一、ものづくりコンテストに全種目出場している本校の技術力と生徒の様子がよく分かります。今年は、まちなかキャンパスにおいて2日間とも金賞をいただきました！

今後も校訓の「信頼される人になれ」を胸に頑張りますので、よろしくお願いいたします。



まちなかキャンパス ものづくりコンテスト

制服リニューアルのお知らせ

令和8年度から、制服が「スーツ」になります。

地域について

もっと知りたい！

～旭神市民委員会の紹介～

旭神市民委員会は、平成14年に啓明地区市民委員会から分離して設立されました。当初7町内会で発足し、現在は6町内会で構成されています。

地域は、大正橋から道道東神楽線に沿って旭川環状線までの間に広がっており、平成6年度から平成9年度まで「リバータウンみどり野」として宅地造成がなされ、現在の街並みになりました。

活動の拠点として「旭神みどり野会館」が平成10年に建設され、市民委員会・各町内会・花と緑の会（老人会）・社会福祉協議会などの各種会議や事業・活動で使用され、地域のコミュニティセンターとして活用されています。



旭神みどり野会館

市民委員会の活動として、昨年に引き続き「旭神ふれあい交流事業」を実施しました。

花火やマジックショー・太鼓・バンド演奏などの催し物や屋台やキッチンカーでの販売などの事業を通して、会員の交流や親睦を図り、地域の連帯感を高め心ふれあうコミュニティづくりに役立つことを期待しつつ、今後も活動を続けてまいります。



マジックショー バンド演奏 子供花火 打ち上げ花火

記事担当：旭神市民委員会事務局長 大瀧 政尚
(緑が丘まちづくり推進協議会委員)



令和8年3月発行 発行者：緑が丘まち協広報誌編集委員会 〈緑が丘まちづくり推進協議会事務局：旭川市神楽支所〉

緑が丘まちづくり推進協議会は

様々な団体が、地域課題や解決策について意見交換を行っています。



ごあいさつ

緑が丘まちづくり推進協議会
会長 石井 秀幸

旭神・神楽岡東・緑が丘・西御料地・緑が丘東の5つの市民委員会がある緑が丘地域は、旭川市内でも最も安心・安全な地域と評判で、旭川医科大学や旭川医科大学病院をはじめ、多くの学校や医療機関にも恵まれた地域です。

この地域で活動する緑が丘まちづくり推進協議会は、多種多様な団体等の委員で構成され、地域のさらなる発展に取り組んでおります。

そのような中、昨年1月、除排雪作業中に痛ましい事故が発生しました。小さなミス積み重ねが大きな事故につながります。令和8年は春と秋に道路交通法の改正も予定されていますので、改めてお知らせしたいと思っておりますが、二度と悲しい事故を起こさないまちづくりに住民一丸となって取り組みましょう。

5地区ふれあい交流事業も4年目を迎えます。この地域で暮らす皆さまの交流がさらに深まり、より一層支え合いの輪を広げていけるよう、今年もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

※市民委員会

旭川市では、各地区の町内会が複数集まって「地区市民委員会」が組織されており、市内には現在61の地区市民委員会があります。

旭神・神楽岡東・緑が丘・西御料地・緑が丘東の5地区が「緑が丘まち協」の対象地区です。

令和7年度委員紹介

会長	石井 秀幸 (神楽岡東地区市民委員会)
副会長	大西 昭和 (緑が丘東地区市民委員会)
委員	荒 美月 (公募委員)
	石塚 英 俱 (緑が丘地区市民委員会)
	今 井 敦 (神楽・西神楽地域包括支援センター)
	大瀧 政 尚 (旭神市民委員会)
	貝 谷 雅 敏 (緑が丘地区小・中学校長会)
	木 嶋 あみ (公募委員)
	田 中 浩 (西御料地地区社会福祉協議会)
	藤 田 嘉 之 (旭川市消防団)
	榎 田 由美子 (緑が丘地区民生委員児童委員協議会)
	萬 藤 庫 治 (西御料地地区市民委員会)
	山 内 洋 (公募委員)
	山 口 希 美 (旭川医科大学)
	山 脇 兼 治 (緑が丘地区社会福祉協議会)



議事録は市のホームページに掲載しています。

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/408/machikyou/d063395.html>



～ 今年度実施した「緑が丘 まち協事業」を紹介します ～

緑が丘地域 防災事業

『みんなでまな“ぼうさい”！』

とき 令和7年9月21日(日)
午後1時～午後4時

ところ 緑が丘地域
活動センター グリンパル

地域全体の防災への意識づけに取り組んでいくことを目的に、住民向けの防災講習会を実施しました。当日は、防災ミニ講話のほか、非常食の試食や避難所設営体験、煙道体験、心臓マッサージ体験など、防災に関する様々な体験メニューに取り組みました。



防災ミニ講話
「自宅周辺の危険を知ろう」



避難所での生活スペースを知ろう



段ボールベッド組立体験



非常食試食



救急車見学



心臓マッサージ体験



煙道体験



放水体験

健康講座

『健康長寿とロコモティブシンドローム』

とき 令和7年10月5日(日)
午前10時～午後0時

ところ 緑が丘地域
活動センター グリンパル

attention /
ロコモティブシンドロームとは
骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えることで、要介護になる危険性の高い状態

講義 「最新の知見からわかる
ロコモティブシンドロームの予防と対策」

講師 旭川医科大学病院リハビリテーション部
理学療法士 高山 拓也 氏



健康チェック

保健師による健康相談及び
血圧測定、明治安田による血
管年齢測定、ペジチェック、
AGEsセンサのほか、握力と
棒反応測定を行いました。



予防運動「ロコトレ」
自宅でも実施できる簡単な
トレーニング方法について、
参加者全員で実践しました。



ロコモ度テスト

旭川医科大学の看護学生さん達のサポートのもと、3つのテストを行い、参加者のロコモ度をチェックしました。

(立ち上がりテスト)

(2ステップテスト)

(ロコモ25)



5地区ふれあい交流事業

緑が丘地域の5つの市民委員会が連携し、年代を問わず気軽に参加できる世代間交流の場を提供することで、住民同士のつながりや地域の活性化へつなげることを目的に、地区対抗の各種交流イベントを実施しました。

モルック大会

とき 令和7年8月17日(日)
午前9時～午前10時30分

ところ 緑新小学校グラウンド

初戦はフィンランド発祥の競技“モルック”。
あいにくの雨により、途中で中止となりましたが、
45名の住民が参加し、競技を楽しみました。



ペタンク大会

とき 令和7年10月4日(土)
午前9時～午前11時30分

ところ 西御料地小学校グラウンド

晴天に恵まれた第2戦！
49名の住民が参加し、フランス発祥の球技・ペタンク
に挑戦しました。



フロアカーリング大会

とき 令和7年12月28日(日)
午前8時30分～午前11時30分

ところ 緑新小学校体育館

3戦目は、各地域で人気の高いフロアカーリング！
年の瀬ではありましたが、60名の住民に参加いただき、チーム総当たり戦による熱戦が繰り広げられました。



紙ヒコーキ大会

とき 令和8年1月18日(日)
午後1時～午後4時30分

ところ 緑が丘小学校体育館

4戦目は、紙ヒコーキの飛距離などを競う大会！
老若男女48名が参加し、会場内には子ども達の大きな
声援が響き渡りました。



健康マージャン大会

とき 令和8年2月8日(日)
午後0時～午後4時30分

ところ 緑が丘住民センター

最終戦は、ねんりんピックの正式種目でもある
頭脳スポーツ・健康マージャン！
各地区選りすぐりの39名が全3ラウンドを戦いました。

